ハロータウン

第75号

生涯学習情報

●連絡先●
茂原市生涯学習課
☎20-1559

さくら・さくら

♪春よ来い♪早く来い♬

～冬来たりなば春遠からじ　は、英国のロマン派詩人シェリーの「西風に寄せる賦（ふ）」の一節。年が明けて木々は芽吹き、梅がそして桜と順次咲き誇ります。春の喜びを告げる桜を見に行くのが待ち遠しいですね　～

○　選ばれたさくら

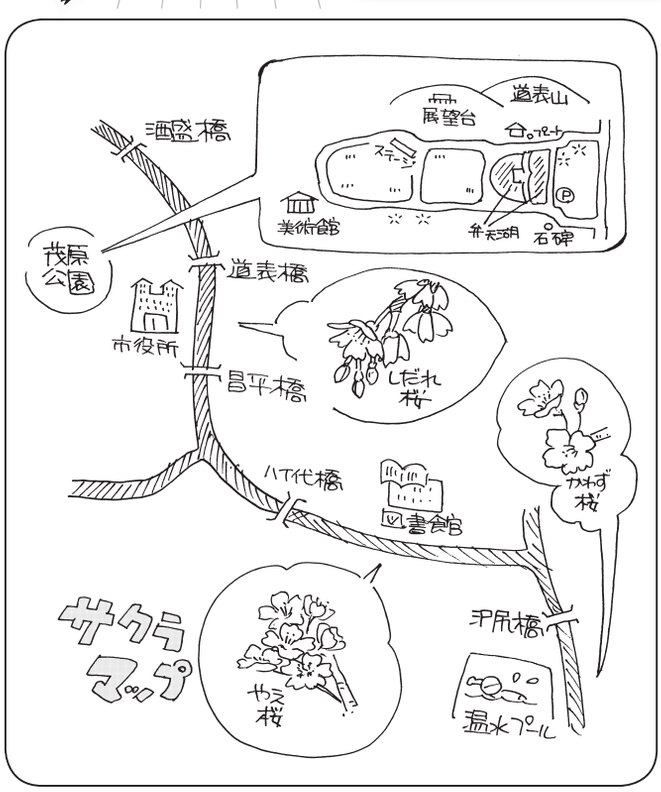
茂原公園の桜は、平成二年に日本さくらの会の全国「さくら名所100選」に選ばれました。公募での声も参考にしたようで、推薦のはがきをたくさん書いた思い出を語る人もいました。各県一～二か所ですが、千葉県では、千葉市泉自然公園・野田市清水公園・茂原公園の三か所です。桜の名所としての知名度、花見客の多さ、保護管理体制、歴史（由緒）、成木の植栽本数などが、選定基準です。

○　昔は水泳練習も

市役所横の通りから茂原公園に至る道路の脇には公園開拓の追憶の碑があります。

昭和十一年には静和女学校（現茂原高校）の生徒が公園内の池（現弁天湖）で水泳練習をしたとの記録も。その後茂原町保勝会（ほしょうかい）の組織が、植樹や管理をしていました。戦時下は活動も休止、戦後昭和二十五年に観光協会が事業を引き継ぎました。平成二年にさくら名所百選の選定記念交付プレート設置と記念樹として花弁の大きい千原桜を植えました。この桜はオオシマザクラの祖先にあたり学術的に貴重なものと言われています。

昭和35年　春の茂原公園



○　さくら色々

茂原公園内の桜はソメイヨシノが主力（約二、一三〇本）ですが、異なる桜もあります。サトザクラ、ヤマザクラ、フユザクラ、リュウキュウヒガンザクラなどです。三月末から四月にかけて、酒盛橋から川沿いに約三キロ以上にソメイヨシノが咲き誇ります。

さくら名所
100選のプレート

桜は、花および葉の色や形、また花期が品種によって異なります。桜まつりの時だけでなく、その前後にも訪ねてみてはいかがですか。

《ソメイヨシノの起源》

確かな記録が無くて諸説があり、なかでも江戸時代に園芸業の拠点だった染井（豊島区駒込）から伝わり、オオシマザクラとエドヒガンの交配というのが有力のようです。

遺伝子解析でエドヒガン系が母親、オオシマザクラが父親を示唆する報告（日本育種学会）があります。諸説の整理に科学的な目も少しずつ入ってきたようです。

《やっぱり食べたい》

桜といえば、おなじみの桜餅、関東風の長命寺は小麦粉（あん）などの生地を焼いた皮で餡を巻いたクレープ状のお餅。関西風の道明寺は、もち米を蒸して乾燥させ粗挽きした粉で皮を作り餡をつつんだ饅頭状（まんじゅう）のお餅です。くるむ葉はソメイヨシノの起源にかかわるオオシマザクラの葉です。

桜の花のアンパン、桜湯などもいいですね。

写真「昭和35年　春の茂原公園」：発行元　株式会社　国書刊行会
「ふるさとの想い出　写真集　明治・大正・昭和　茂原」　著者　海保　四郎